

製品名: E4BP4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10261**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	51kDa

抗原情報

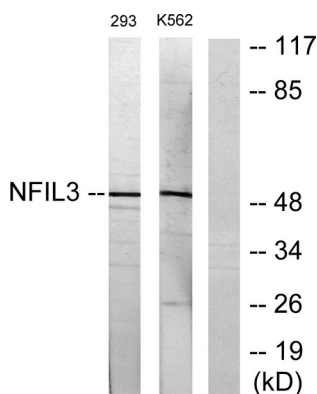
遺伝子名	NFIL3 NFIL3; E4BP4; IL3BP1; Nuclear factor interleukin-3-regulated protein; E4 promoter-binding
別名	protein 4; Interleukin-3 promoter transcriptional activator; Interleukin-3-binding protein 1; Transcriptional activator NF-IL3A
遺伝子 ID	4783.0
SwissProt ID	Q16649
免疫原	抗血清はヒト NFIL3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

背景

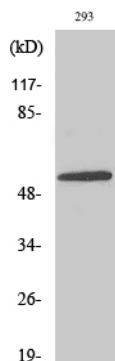
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、多くの細胞およびウイルスのプロモーターにある活性化転写因子 (ATF) 部位にホモ二量体として結合する転写制御因子である。コードされるタンパク質は PER1 および PER2 の発現を抑制するため、概日リズムの調節に役割を果たす。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする 3 つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、機能: 多くの細胞およびウイルスのプロモーターに存在する配列である 5'-[GA]TTA[CT]GTAA[CT]-3'配列を認識して結合する転写制御因子として機能する。活性化転写因子 (ATF) 部位を持つプロモーターからの転写を抑制。骨芽細胞のプロモーター活性を抑制 (類似性による)。PER1 の転写活性を抑制 (類似性による)。プロモーター上の B サイトを介して PER2 の転写活性を抑制 (類似性による)。T 細胞においてインターロイキン 3 プロモーターからの転写を活性化する。PAR DNA 結合因子 (DBP、HLF、TEF) と同一のコンセンサス結合部位を競合する (類似性による)。細胞自律性コアクロックにおける PER2 振動の概日リズム発現の負の調節因子として機能する概日時計の構成要素 (類似性による)。プロ B 細胞をプログラム細胞死から保護する。誘導: PHA または TPA によってアップレギュレーションされる。類似性: bZIP ファミリーに属する。NFIL3 サブファミリー。類似性: 1 つの bZIP ドメインを含む。サブユニット: ホモダイマー。ダイマーとして DNA に結合する。DR1 と相互作用する。PER2 および CRY2 と相互作用する。組織特異性: 膀胱、胃、甲状腺、脊髄、リンパ節、気管、副腎、骨髄、筋肉で発現する。、

研究分野

画像データ



NFIL3 抗体を用いた 293 細胞および K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



E4BP4 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。